

第1 日時 令和5年11月14日(火) 午前10時30分～正午

第2 会場 石巻市防災センター 会議室1

第3 出席委員 9名

第4 事務局

第5 会議概要

1 開 会

司会が全出席予定者の着席を確認し、定刻に開会を宣言した。

2 会議の成立

司会が、本日の審議会の会議の成否について、石巻市下水道事業運営審議会条例第5条第2項の規定により、会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができないとされているところ、委員12人中9人の出席を得たので、会議が有効に成立することを報告した。

3 会長あいさつ

岡野会長よりあいさつ

4 議題「下水道事業経営戦略の改定について」

会長) ここからは、私が会議を進行してまいります。会議が円滑に進行しますように皆様方の御協力をお願いいたします。次第4「下水道事業経営戦略の改定」につきまして、事務局から説明をお願いします。

※資料に基づき事務局説明※

会長) ただ今の事務局の説明について御質問等ございましたら、挙手をお願いします。

委員) 資料2の7ページについて、処理区域人口予測がありますが、令和14年度末には石巻市の人口のほとんどをカバーできると考えてよろしいですが。

事務局) 普及率については、人口で算出しておりますので、下水道普及地区の人口と御理解いただければと思います。つまり、令和14年度の101,060人という数値は市の人口の82.9%です。

委員) いろいろな文の中に人口減少と書いてありますが、例えば総務省や特別社会保障・人口問題研究所などで出している石巻市の人口予測は、どんどん減っていくとなっておりますが、資料2に書かれている人口は下水道に接続している人口ということですか。

事務局) 今、委員がおっしゃったように様々な人口予測がありますが、経営戦略におきましては資料に記載のとおり、令和3年9月に策定した石巻市人口ビジョンを基に算出しております。人口ビジョンには3パターンの推計がありますが、その中の1つを計画策定の際に用いるという市の内部ルールがあり、そのパターンをベースに計算しております。それに合わせて処理区域内人口も算出しておりますが、処理区域内人口ですので工事が進めば、当然その分で増える人口があり、それとは別にそもそも自然減で減る人口があり、その見合いでこの予測を出しております。

38 令和13、14年度で数字が上向きになってくる部分ですが、資料2別紙2で説明いた
39 しましたとおり、令和13年度から汚水にかかる工事費用が増えますので、処理区域が拡
40 大することにより増える人口が、自然減で減っていく人口を上回る予測となっており、数
41 字が上向くこととなりました。

42 **委員)** 令和13年度から、グラフの角度では急激に上向きになっておりますが、なにが一番
43 の要因なのでしょう。

44 **事務局)** 事業費です。別紙2にありますとおり、これまで汚水費用は毎年4.8億円とし
45 ておりましたが、令和14年度では14.4億円としております。この増加する事業費が
46 主な要因です。

47 **委員)** 先ほどの説明で令和14年度の101,060人という数字は人口の82.9%の
48 数値とのことですが、100%の人口は何人ですか。

49 **事務局)** 全体で約123,000人です。

50 **委員)** それだと、石巻市人口ビジョンの数字よりだいぶ多くないですか。私が見た石巻市
51 人口ビジョンの数字だと、令和14年度の数値ではありませんが、2035年(令和17
52 年)の人口が107,494人という推計になっております。それと比べてもだいぶ多い
53 と思います。

54 **事務局)** 先ほど人口推計のパターンが3つあると説明しましたが、社人研で出しているも
55 のが一番厳しいパターンとなっており、そのほかに、人口減少を抑制する各種施策を行う
56 パターンを2つ出しております。対策をして最も効果が出たパターンのものをこうい
57 った計画に採用することとしております。

58 **会長)** 他にございますか。

59 **委員)** 資料2の12ページ、基本目標①イに使用料等の強制徴収とありますが、具体的に
60 どのような手法をお考えでしょうか。

61 また、ウに不明水の縮減とありますが、これまでの説明では不明水は様々な要因がある
62 とのことで、対策も難しいと思いますが、具体的に対策を進めるために、どういう方向で、
63 どれぐらい費用をかけてやっていく計画なのか伺いたい。

64 それから、③災害に強い街づくりとありますが、先日、復興事業完結式典がありました。
65 国からの復興交付金事業が終了したわけですが、震災復旧で取り残された部分があるよ
66 うに感じます。例えば、一部には側溝から悪臭がする区間もあり、また、管路がガタガタ
67 になっている部分もあるのではないかとされており。そういった部分の対策はこ
68 れから市の単独費用で行うのか、あるいは国からの補助金があり、それによりいくらかで
69 も経費が抑えられるのかについても伺います。

70 **事務局)** 強制徴収についてですが、滞納に関しては、まずは督促等を行っていきませんが、
71 それでも支払われなくなった際に、債務者の経済状況にもよりますが、預金等の差押え
72 も行うことになるかと思えます。

73 不明水及びストックマネジメント事業についてですが、側溝の悪臭のお話もありまし
74 ましたが、管路につきましては現在当課の職員や委託している事業者が管路状況の確認・把握
75 を行っており、必要に応じて修繕していくこととしております。また、管路がガタガタし

76 ている部分があるのではという質問に対してですが、汚水管路施設のストックマネジメント基本計画で施工年度を検討しながら、管路の危険な範囲を調査し、順次改修・更新を行う予定としております。

79 復興・復旧事業で、主となる雨水排水ポンプ場やそこに繋がる幹線等は完成しました。
80 しかし、大雨の際に一部冠水が発生する地区もあり、雨水排水事業はまだ道半ばであると
81 感じております。今後は、復興・復旧に伴う事業よりは補助率は下がりますが、国の補助
82 事業を活用しながら対策を進めてまいりたいと考えております。

83 **会長)** 他にございますか。

84 **委員)** 経営戦略の中で、お金のことで考えると、収納率の向上策と未接続世帯の解消策が
85 あります。計算してみると、未収率が15%くらいあり、年間では約1億円になるのでは
86 ないかと思います。これは少し多いのではないかと思います。それから未接続世帯につい
87 てですが、約25%が未接続世帯ということは45,000戸のうち約10,000世帯
88 が未接続ということになり、これも大きな問題だと思えます。これも仮に計算してみると、
89 すべての世帯が接続されれば年間1.5億円くらい収入が増えると思われれます。経営戦略
90 の中でもいろいろな対策が書かれておりますが、収納率の向上と未接続世帯の解消が石
91 巻市の大きな課題だと思えます。それに対してどのように取り組んでいくのか、それをど
92 のように経営戦略に取り込んでいくかが今後の課題だと思えますので、もう少し具体的
93 に考えていった方が良くかと思えます。

94 **事務局)** 収納率につきましては、前回の資料3決算概要の8ページに6下水道使用料の収
95 入状況とあります。この表の現年度分の(2)-2と(3)-2が令和4年度の実質的な
96 収納済額と収納率になります。令和4年度は98.3%が収入されましたので、今年度に
97 繰り越した未収分は1.7%になります。また過年度分の(4)に不納欠損額が令和4年
98 度は1,957万9千円とございます。昨年度、5年間の時効を迎えて最終的に回収しき
99 れなかった額が約1,900万円となっております。

100 **委員)** 前回資料4中間検証シートの(3)収納率の向上の欄では3億円くらいの未納額と
101 ありますが、こちらはどのようなことですか。

102 **事務局)** 同じく前回資料3の8ページで説明しますが、(2)と(2)-2、(3)と(3)
103 -2と二つの数字がそれぞれありますが、こちらは例えば、令和4年度ですと令和5年3
104 月分の使用料については、実際には4月以降に市に収納されますが、その金額が除かれて
105 いるものが(2)(3)に記載されているものになります。つまり年度の切り替わりによ
106 り、実際には滞納ではないものの、債権として発生したものになります。令和5年3月分
107 の使用料については、令和5年5月までにはほぼ納められており、収納率は98.3%と
108 となっております。

109 それから、もう1点御質問のありました未接続世帯の解消についてですが、前回までの
110 審議会で接続切替のための補助金について議論をいただきましたが、そういったツール
111 を使いながら広く接続を呼び掛けていきたいと考えております。我々も、新しく接続でき
112 るようになる地区に対しては説明会を開催し、補助金や融資あっせんの制度等について
113 もお知らせしながら、接続をお願いしているところですが、説明会を欠席される方もおり

114 ますので、さらに別な手段も用いながら広報をしてきたいと考えております。また、戸別
115 訪問も行っておりますので、そういった手段でもお知らせしていきたいと考えておりま
116 す。

117 **委員)** あと1点、余談にはなりますが、私が石巻市に来てからあまり日が経っておりませ
118 ませんが、街を見ておりますと、民営の古いアパートはほとんど下水道に接続されてお
119 りません。それから個人でやっているような居酒屋も、あちこち入る度に下水道に接続されて
120 いないのも目につきます。ですので、個人のお宅だけではなく、こういった営業活動を行っ
121 ているお店等に対して、市の下水道管理課、建設部だけでできることではないかもしれま
122 せんので、例えば保健所と連携して、飲食施設で下水道に接続されていないのは衛生上問
123 題ではないかなど、横のつながりを活用しつつ、もう少し対策を取られた方が良いのでは
124 ないかと感じましたので、こちらも検討に加えていただければと思います。

125 **委員)** この経営戦略は、将来の青写真として、収入と支出のバランスを今回資料でお示し
126 いただきましたが、支出の部分に関しては、しっかりと取り組まれているようなので、良
127 いのかなと思いました。また、収入の対策として、先ほど、佐々木委員からも御意見あり
128 ましたが、未接続の対策をしっかりと取り組まれるのが良いかと思います。未利用地の活
129 用なども記載されておりますが、ぜひ取り組まれてほしいなと思います。また、広域処理
130 については、国や県でも推進しており、例えば汚水処理を広域化するとか、単独処理場
131 で行っている薬品検査を中央でまとめて行うなどの取組みもありますので、できる範囲で
132 取り組んでいただければなと思います。

133 それと1つ質問ですが、今回の経営戦略は、我々が答申した後にもどくなるのか伺
134 いたい。使用料については、来年度とのお話もありましたが、どのように関係していくの
135 か、あるいは内閣府に提出するとか、議会に諮るものなのか、教えていただきたい。

136 **事務局)** まずは取り扱いについてですが、今回資料でお示ししているものを、次回経営戦
137 略案として諮問させていただく予定です。それに対して、委員の皆様から意見等があれば
138 それを踏まえて、答申をいただきたいと思っております。答申を受けましたら、市議会に
139 説明したいと考えております。説明時期は今のところ、2月議会を予定しております。さ
140 らにその後、パブリックコメントで市民の皆様にご意見を頂戴し、その後、庁内で決裁の上、
141 経営戦略として策定したいと考えておりました。

142 また、使用料については、仮に値上げする方向になったとしても、令和6年度にすぐ
143 とは考えておりません。不明水のお話も頂戴した中で、上げるか否かの議論も含めて今年
144 度中にすべての結論を得ることは、時間的にも厳しいと考えており、来年度に議論を深め、
145 令和7年度から反映できればと考えておりました。ですので、今回、収支見通しについて、
146 現行の使用料と10%値上げしたものの2つをお示しさせていただきましたが、値上げ
147 に関する議論をするということを経営戦略改定の中で結論としていただければと考えて
148 おりました。

149 **委員)** わかりました。それと、料金の関係ですが、来年度議論するとのことでしたが、下
150 水道の処理は上水道の処理と比べて、多くの動力費が必要となります。つまり、電気料等
151 の物価上昇の影響を大きく受けてしまいますので、今年中に物価変動を見極めるのは難

152 しいと思います。来年度しっかり議論をするという方針で良いかと思いましたが。

153 **委員)** 12ページの③市民の生活を守り支える(危機管理強化)とありますが、伊で県の
154 下水道広域化・共同化計画に基づき、近隣市町とBCPの共同策定に取り組むとあります
155 が、DCP(District Continuity Plan: 地域継続計画)、つまりは自治体と企業、先ほ
156 ど佐々木委員からお話のありました居酒屋さんなど、地域と企業が結びつきながらBC
157 Pを進めていく、DCPというのが最近注目されてきておりますが、その1つかなとみ
158 ておりました。具体的にどのような計画を立てているのか教えてください。

159 **事務局)** 危機管理対応ということで、有事の際に近隣市町と協力しながらやっていくとい
160 うのが1つございます。それからコスト面の話もありましたが、実際に燃料費や電気代と
161 いった部分は難しいかとは思いますが、資材調達や、あるいは近隣自治体で重複して行っ
162 ている事務をどこかで一括で行うことで、全体としての経費を抑えられるといったこと
163 はあるかと思えます。こういったことは取組項目の1つとして考慮しております。

164 **委員)** これは今後の取組みということでしょうか。

165 **事務局)** 一部はすでに進めているものもあります。例えば危機管理に関しては、すでにB
166 CPを進めている他団体の防災訓練の視察を行いました。そこでは民間の事業者と連携
167 しながら訓練を行っておりましたので、そういった事例を参考にしながら、我々も今後訓
168 練を実施する際に、関連する業者等にも参加してもらい、そして実際に有事が発生した際
169 には協力して対処していきたいと考えております。

170 **委員)** BCPやDCPは実際になにか起きた際だけではなくて、その後の復旧をいち早く
171 進めるために、どうやって協力してやっていくかということも重要ですので、計画として
172 作っておくべきかと思えます。

173 **事務局)** はい。ありがとうございます。

174 **会長)** 他にございますか。

175 **委員)** 資料3で現行の使用料と、使用料を10%上げた時の収支見直しをつけていただき
176 ました。その説明で、使用料を10%上げると一般会計からの基準外繰入金が年間1億円
177 程度抑制できるとのお話でしたが、経営戦略の最初のところでも書かれているように、一
178 般会計からの繰入金が課題となっている中で、金額的に目指すところはあるのでしょ
179 か。

180 **事務局)** 本来であれば汚水処理費用に関しては全額私費で賄うこととされておりますの
181 で、それが望ましいかとは思いますが、前回の審議会でも御意見がありましたとおり、こ
182 の汚水処理費用の中には不明水の処理費用も含まれております。今回10%とした理由
183 は、令和4年度実績ベースで流域下水道負担金が年間1.4億円増加したことと、物価高
184 騰により雨水事業だけでも電気料金が年間1,500万円くらい増加している中で、今の
185 決算額における使用料を考えると10%程度の値上げが妥当だろうとしたところです。

186 今後は4年に1度見直しを予定しておりますが、それまでに、段階的に不明水を解消し
187 つつ、使用料についても再度検討していきたいと考えておりました。

188 **委員)** 不明水が現状のまま残っている中で、まずは、ということですね。わかりました。
189 それから、別紙5のストックマネジメント事業について、第1期から第4期までであるよう

190 ですが、1期あたりは5年ということによろしいですか。

191 **事務局)** 当初の予定では1期あたり5年と考えておりましたが、資料にも記載しましたが、

192 全体事業費が約64億円と試算した中で、財源の問題もあり、なかなか5年で区切りをつ

193 けて処理することはできないかと考えております。

194 **委員)** 第1期に進める予定の施設が4施設あると思いますが昭和58年3月供用開始の

195 湊排水ポンプ場が後回しになっているようですが、この理由を伺います。

196 **事務局)** 湊排水ポンプ場は現段階では2期目の工事を予定しております。施工年度では確

197 かに井内ポンプ場より湊排水ポンプ場の方が古い施設にはなりますが、ストックマネジ

198 メント計画を作る中で、建物の施工年度だけではなく、機械や電気設備、あるいはそれを

199 制御する心臓部にあたる設備の劣化状況を確認したところ、井内排水ポンプ場の方がよ

200 り早い対応が必要だという判断となり、優先度を高めたことところです。ただし、第1期の

201 工事が全て完了してから第2期分に取り掛かるというわけではなく、第1期工事がある

202 程度進捗したところで、第2期分の点検調査も間に挟みつつ取り組んでいくこととして

203 おります。

204 **委員)** 今更ながらの質問ではありますが、経営戦略の中で、本市が抱えている課題が4つ

205 ほどありましたが、他自治体、例えば多賀城市等と比較した際に、本市に特化している課

206 題、例えば費用が掛かりすぎているとか、そういったことがあるのか教えていただきたい

207 です。

208 **事務局)** 多賀城市と比較してという答えではありませんが、人口が密集している都心部と

209 比較すると、費用のかかり方、つまりは効率性が全く異なります。我々のような人口密度

210 が低い地域では処理効率・投資効率が悪くなってしまいますので、条件不利地域になるの

211 かなと思います。それから石巻市の特徴としては、本来、雨水が自然流下する地域ではポ

212 ンプ場を設置する必要はありませんが、石巻市はこの雨水処理費用が多額にかかっているのが特徴です。

213

214 **会長)** 他にありませんか。無いようですので、それでは、これで議事を終了します。事務局

215 においては、今回までの審議会での議論、意見を踏まえ、経営戦略の改定案について、

216 次回の会議で諮問を予定していると思いますが、同様に答申案につきましても、今回まで

217 の議論、意見を踏まえ、次回会議の際、用意をお願いします。

218 5 その他

219 事務局から次回、第4回審議会の予定および日程調整について説明した。

220 6 閉会

221 司会が閉会を宣言した。